



慎重に豆腐を切り分け



卵の花づくりに挑戦



すり潰して煮た大豆をこす作業

1月21日、22日に深川市立一已小学校の6年生60名が、農作物が食品になるまでを学ぶ総合学習の一環で豆腐と卵の花作りを行い、女性部のイチヤン販売グループ（平野あい子会長）の7名が指導にあたった。

児童たち自身で昨年の5月に播種し、10月に脱穀した「ユキホマレ」を、見事な豆腐に仕上げた。

JAきたそらちでは、ホームページとFacebookで、魅力満載の情報を発信中です！ ぜひ、ご覧ください！



～目次～

- ◆北育ち元気村 花き生産組合
第23回通常総会 — 2
- ◆青年部・女性部と
JA常勤役員による懇談会を実施 — 4
- ◆女性部音江・イチヤン支部合同で
フラワーアレンジメント講習会 — 5
- ◆幌加内町もち米生産組合
鏡餅を贈呈 — 6

販売部

「ゆめぴりか」生産組合
第8回通常総会

岡田組合長による開会挨拶



JA竹田考査役による研修会

1月17日、「ゆめぴりか」生産組合（岡田徹組合長）が第8回通常総会を開催し、組合員26名が出席した。

岡田組合長は開会にあたり、「令和元年度「ゆめぴりかコンテスト」に基準値を満たす100tものロットを構えて出場出来たことは組合員の皆様、また調製に携わってくれたJA職員のおかげ。令和2年度についても、全国有数の米どころだと評価される産地として、胸を張って「きたそらちのお米」を生産し、次のコンテストでは最優秀賞を狙えるよう、今後とも組合員の皆様のご協力、またJA職員による調製とご協力をお願いしたい」と挨拶した。議事では、畠山尚久氏（幌加内地区）を議長に選出し、令和元年度の事業・決算報告、令和2年度の事業計画などが原案通り承認された。

総会に続いて、販売部の竹田秀人考査役が「豊作の中、タンパクの地域差は、どのように生じたか?」と題した研修会を開催し、同JA管内の令和元年産米における生育経過やタンパク値に地域差があったことなどを説明。竹田考査役は、「地力窒素が多い地域に高タンパク米が多い傾向。各ほ場の適正窒素量を探り、施肥量の調整を」と話す。

【米穀課 松田】

北育ち元気村
花き生産組合

第23回通常総会

青果部

1月15日、深川市のラ・カンパーニュホテル深川で第23回北育ち元気村花き生産組合の通常総会が開催され、生産者や関係機関の職員など約150名が出席した。

石田隆広組合長は開会にあたり、「花業界では、生産者や市場、種苗会社、指導機関、花屋など多くの関係機関が携わって消費者に花が届けられている。花業界が『One Team』となり、9年連続北海道一の販売額を続けてきた産地として、安心・安定した品質の花を消費者に届けていきたい」と挨拶した。

今回の総会では役員改選が行われ、令和2、3年度の組合長を務める田村昌之氏（妹背牛地区）は、「諸先輩方が築き上げられた当生産組合の伝統を重んじるとともに、新しい時代に目を向けた組織運営をしていきたい。組合員の方々には、当生産組合の益々の成長と発展のためお力添えを頂きたい」と就任への意気込みを語った。

出荷共励会の表彰では7部会36名が表彰され、代表品目のシニアータ部門では面積10a未満で横井信一氏（一已地区）、面積10a以上で野原利文氏（一已地区）が最優秀賞に輝いた。また会場には、例年同様に内藤敬人氏（音江地区）が中心となり作成したフラワーアレンジメントが飾られた。



石田組合長による開会挨拶



新役員による就任挨拶

第20回 JAきたそらち青年部通常総会



1月14日、本所大会議室にてJAきたそらち青年部の第20回通常総会が開催され、同部員や来賓など67名が出席した。

開会にあたり、田中龍貴部長は「我々青年部は、地域社会を支える

基幹産業の担い手として、安心・安全で、高品質な農畜産物の生産を行う存在。青年部活動で部員相互の団結力を高めながら、今後も農業を通じて地域社会を盛り上げていきたい」と挨拶した。

議事では、事業報告並びに決算、計画議案が原案どおり承認され、また役員改選が行われた。令和2年度の部長を務める加藤亮氏（北竜支部）は、「新役員一同で協力し合い、助け合い、支え合いながら、今後の青年部活動を有意義なものにしていきたい」と就任への意気込みを語った。尚、新役員は右記の通り。

【営農企画課 石野】

役職	氏名	支部
部長	加藤 亮	北 竜
副部長	松平 昌広	雨 竜
副部長	鈴木 省吾	納 内
常任理事	鬼原 慎一	深 川
常任理事	川端 健太	多度志
常任理事	横窪 佑樹	幌加内
理 事	大井 賢太郎	一 已
理 事	長岡 祐一	音 江
理 事	栗野 佑介	深 川
理 事	長谷川 明生	納 内
理 事	西田 展好	多度志
理 事	金山 勇太	雨 竜
理 事	四辻 和也	北 竜
理 事	中川 祐哉	幌加内
代表監事	田中 亮嗣	音 江
監 事	小畑 雅英	一 已

農 業 振興部

令和元年度

JA空知青年部連合会北ブロック総会

1月16日、本所大会議室にて令和元年度JA空知青年部連合会北ブロック総会が開催され、北ブロック管内の青年部員や来賓など65名が出席した。

総会では、開会挨拶で山田憲明代表理事（納内支部）が、「これからの北ブロック活動や個々の営農をより良いものにするために、横のつながりを大切に仲間づくりをしてほしい」と呼びかけ、事業報告ならびに事業計画案等が原案どおり承認され、また役員改選が行われた。令和2年度の代表理事を務める松平昌広氏（雨竜支部）より、「北ブロック活動が更に有意義なものになるよう役員一同尽力する」と就任の挨拶を行った。

総会終了後は懇親会が開かれ、普段交流の少ないJA北いぶき青年部の盟友と親睦を深め結束を固めた。尚、



新役員は下記の通り。

【営農企画課 石野】

役職	JA名	支部	氏名
代表理事	きたそらち	雨 竜	松平 昌広
副代表理事	北いぶき	妹背牛	日裏 健二
理 事	きたそらち	北 竜	小野 嵩
監 事	北いぶき	沼 田	岡田 和久

農業 振興部

青年部・女性部とJA常勤役員との 懇談会を開催



1月9日、青年部・女性部とJA常勤役員との懇談会が営農センターにて開催され、両部の役員28名とJAから16名の役職員が出席した。

同懇談会は、第29回JA北海道大会で提起された“新たな協同組合の創造に向けた継続討議”の具体的な実践方策でもある「組合員との対話運動」の一つとして開催し、当JAの令和2年より開始する第7次農業振興計画・農協経営計画等に対する意見交換を行った。

懇談会では、出席者が4班に分かれて同計画の内容を中心としたグループ討議を行った。各班では、「高齢化や後継者不足で、このまま経営を続けていけるか、また農地を守っていけるか不安を感じている。新規就農者や研修生等を受け入れる農家側も整備が必要。JAは人材の確保や育成に力を入れてほしい」、「青年部・女性部員の減少が避けられない中で、JAとしても部員確保に向けた対策を行ってほしい」など活発な意見



交換を行った。グループ討議の後には各班での討議内容を発表し、両部とJAが抱える課題などを共有した。

柏木孝文組合長は、「どの班でも高齢化や担い手不足等に関して多くの意見が出された。JAとしても、あらゆる対策・体制整備を進めていきたい。またJA役職員では考えつかないような青年部・女性部としての意見や要望はどのようなことでもJAに言っていただき、JAにおいても事業に反映していきたい」と統括し、地域農業の振興とJA経営に一層の協力を求めた。

「令和元年 JAきたそらち 女性部 活動応援キャンペーン」

特典抽選会を実施



金融 共済部

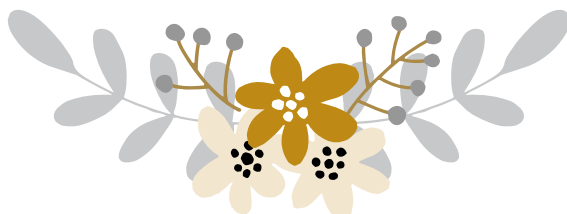
1月17日、当JA金融共済部が実施した「令和元年JAきたそらち女性部活動応援キャンペーン」の特典抽選会が行われた。

同キャンペーンは、女性部への加入推進や女性部活動の応援・活動支援、さらに将来に向けた組合員生活の安定を進めることを目的とした女性部貯金および定期貯金キャンペーンで、抽選の結果30名が旅行券や商品券に当選した。

キャンペーンを実施した貯金課の伊藤強課長は、「今後も今回のようなキャンペーンを実施し、女性部加入の推進と活動を支援していきたい」と話す。



柏木組合長による抽選



女性部 音江・イチヤン支部合同で

フラワーアレンジメント講習会

12月20日、女性部音江支部とイチヤン支部合同のフラワーアレンジメント講習会が開催され、両支部より部員18名が参加した。

深川市内の花屋「花パレット」から青木真弓氏と栄美枝子氏を講師に迎え、正月用のアレンジメントに挑戦した。花材には万年竹や葉ボタン、カーネーションなどを使い、花材の切り方や生け方を教わりながら、部員それぞれが創意工夫し個性豊かな作品を完成させた。

講師の青木氏からは、「花材の雲龍柳（金色）の使い方が上手です」と称賛の言葉を貰い、和気あいあいとした講習会になった。

【深川支所 松本】



女性部
深川支部

フラワーアレンジメント講習会

深川支所

1月15日、女性部深川支部（吉田祥子支部長）のフラワーアレンジメント講習会が行われ、部員25名が参加した。

昨年に引き続き、深川市内の花屋「nagom garden なごむガーデン」より嶋敦子氏を講師に迎え、フェイクグリーンのフレーム作りに挑戦した。

部員は綺麗に見えるバランスを考えながら、フェイクグリーン（人工観葉植物）をフレーム（木枠）の中のオアシスに差し込み、個性豊かな作品を作り上げた。嶋氏からは、「枯れることが無いのでどこにでも飾れるし、季節によって小花などを足すと雰囲気が変わり楽しめますよ」とアドバイスを受けた。

同支部は昨年11月中旬にクリスマスリース作り、12月下旬にお正月用アレンジを行っている。

【深川支所 田中】



幌加内町 もち米生産組合

鏡餅を贈呈

幌加内支所

12月24日、幌加内町もち米生産組合が鏡餅の贈呈を行い、横窪敏明組合長と古林茂副組合長が当JA や幌加内町、上川総合振興局、ホクレン岩見沢支所の4か所を訪問した。

同生産組合では、一年の出荷を無事終えたことへの感謝と翌年の豊作を祈願して毎年贈呈を行っている。鏡餅は下段が直径21 cm、上段が直径18 cm、重さは約6 kgあり、同町の「北里もちそば組合 片田舎」が町産の「はくちょうもち」3 升を使い作成した。



JA役職員新年交礼会 開催

1月6日、深川市のラ・カンパーニュ ホテル深川にて、令和2年役職員新年交礼会が全役職員出席のもと開催された。

柏木孝文組合長は、年頭の挨拶で役職員に対し「令和2年はJA変革ビジョン2030、第7次農業振興計画・農協経営計画の策定年で、実践の1年目となる。ビジョンで掲げる「日本一の米産地」の達成を目指し、組合員との密着力を高める横串を入れた活動を本年以降も進め、5年後、10年後の当地域の在り方やJA体制を十分に協議して参りたい。また地域を守るためにそれぞれの職員がスキルアップし、地域・組合員に対する対応力の向上に努めていただきたい。本年の秋には豊作を喜べる年となることを期待したい」と訓示した。

席上、永年勤続表彰や優良運転者表彰が行われ、提案表彰では雨竜支所営農課が、台風15号による大型停電に見舞われた千葉県在住の顧客に対して、被災地支援として無菌米飯を送ったことについて特別表彰を受けた。永年勤続表彰者については右記の通り。

<永年勤続表彰 30年>

松坂 修一（金融共済部融資課）
川本 達也（経済部車両機械課イチヤン整備工場）

<永年勤続表彰 20年>

森島 直樹（販売部農産課）
谷内たつ枝（総務部総務経理課）
松原 幸恵（販売部米穀課）
阿部 孝司（経済部燃料課イチヤン給油所）
竹田 浩（経済部燃料課納内給油所）
松本 成悟（経済部燃料課北竜給油所）





石田邦雄の

農業紡ぎ愛

第6回

農業者としての誇りを胸に

「日本一の米産地になる」ことをビジョンに掲げている貴JAの広報誌に隔月にて寄稿をさせて頂き、今回が早いもので6回目。これが年度最後の発信になります。

ところで私が住所をおいているのは日本でも有数の穀倉地帯である十勝。そこで高いシェア率を誇っている地方紙に十勝毎日新聞があります。地元ではもっぱら「かちまい」という愛称で呼ばれているのですが、その「かちまい」に、昨年の12月25日、1面トップとして大々的に報道された農業関連の記事がありました。「十勝JA過去最高3549億円」という文字が踊っているではありませんか。どうやらそれは昨年における生産取扱高に関してのもので、その額は以前から目標として掲げてきた「2021年に3500億円」を2年も前倒しで達成したという内容でした。十勝っ子としてこんなに嬉しいことはありません。その結果、わが十勝では食料自給率がカロリーベースで1200%を超えるという。ここまで聞くと素晴らしいことづくめなのですが、わが国全体をみると、ご承知のように食料自給率は40%にも満たないという、極めてアンバランスな関係にあります。きな臭い昨今の政治や経済の動きをみると、「この状況で何らかのきっかけで食料戦争にでもなったなら」

と思うと、大きな不安を覚えるのは私だけでしょうか。そう考えると、今後の農政の行方がとても気になると共に、いつ、どんな時にも揺るぎない、足腰の強い農業を築いていくことが求められます。その為にも「日本一の米どころ」を目指す、わがJAきたそらちに期待される役割は重大です。

そこで最近、私がよく話題にすることを一つ。それは「4つの誇り」についてです。これは、JAはもとより、その構成員である組合員の事業所においても同様にいえることだと思いますので紹介をさせて頂きます。まずは「1つ目の誇り。それは「生活の根幹に関わる農業に携わる誇り」です。「農業なくして生活なし」「農業なくして経済なし」…この他にも「農業なくして」という言葉で括るともつともつと出てくるのではないのでしょうか。これを機会に農業が持つ意味合いを感じてもらおう為に、そうした視点から改めて客観的に眺めてみることにし、「農業は？」が、より深まってくるように思います。そうすると間違いなく皆さんは社会的にはとても素晴らしい仕事をしているのです。二つ目は「所属する組織や企業に対する誇り」です。JAをはじめ各々が所属する事業所に誇りを持ってないようなら、よい仕事をするのは難しいでしょう。その為にも経営理念やビジョン等がどれだけ全体

的に共有化されているか等が問われます。三つ目は「互いの職種に対する誇り」です。私達の組織は自分一人で仕事をしているわけではありませんが、まさに「協働」の精神で成り立っているともいえます。土づくりはもとより農産物の生産に直接携わる者もいれば、それを販売する営業関係等の人もいます。更にはそれを底辺から支える事務関係の方もいるでしょう。そうして効率を考えた役割分担のもとで、連携を取りながら進めているといえます。さて、最後の四つ目。それは「自分自身に対する誇り」です。これまで述べてきたように、農業という生活密着型産業に就き、大小の違いはあっても、その一面を担う組織人の1人として、一つの役割を担うプロフェッショナルとして誇りある仕事を行う…そうした職業なり企業を選んだ自分自身に対する誇りも忘れてはなりません。もしかすると、これが誇りのベースといえるかもしれません。

それではあなたはこれらの誇りについて、どれだけ自信なり自覚をもつてやっているでしょうか？得てしてこれらは年月の経過と共に風化していく可能性が高いともいえます。常に初心に立ち返ることが重要です。そこで私はよくこんな風に問いかけます。「誇りが埃かぶっていませんか？」と。

さて、今のあなたはいかに？

【著者】石田邦雄（いしだくにお）氏



1946年北海道新得町生まれ。(有)石田コンサルタントオフィス代表取締役、めでの研究室主宰。国鉄、会計事務所を経て中小企業診断士として独立開業。

現在は社会保険労務士、キャリアコンサルタントとして、組織改革や人材育成に携わる。人と企業のマッチングを目指し、中小企業大学校を初めJAカレッジなど、多くの団体、企業と携わる。「教えるよりも考える」、「学ぶより気づく」を柱に、体験学習を交えたわかり易い研修が特徴。著書に「産業カウンセリング」や「縁を結び、人を育む」など多数。

営農懇談会開催

令和元年12月5日～12月13日

各地区で行われました懇談会内容をお知らせ致します。

●意見要望事項
●対応等

総合企画室

●変革ビジョン2030

において、本所機能は営農センターに集約になるのか教えて頂きたい。

●現本所の老朽化が激しく更新が必要であります。組合員が利用しやすいよう、本所を営農センターに集約することを検討しております。

金融共済部

●JAの労災加入率と推進体制を教えて頂きたい。

●JAきたそらち全体での加入率は約7割です。労災加入については随時受け付けておりますが、

今後とも営農計画書策定時に労災継続の確認と未加入者推進を実施致します。

●営農計画書と相続についてであるが、営農計画書の収支の裏付けとなる保証人が必要と考える。農地の相続等が発生した際の証拠となるので支援体制の確立をお願いしたい。

●令和2年4月からの民法（債権法）改正により、今後、第三者個人保証の設定は、公証人による保証意思確認の手続きが必要となるため、現行の営農計画書の内容でご理解願います。相続が発生した場合は、被相続人に対し可能な限り情報提供等

の対応を致します。

農業振興部

●組合員戸数が減少し、地域の農地保全が非常に厳しい状況にある。スマート農業の普及は大事と考えるが、JAとしての取り組み方針を教えて頂きたい。また、人材の育成確保は最も重要だと考えるので、JAとして積極的な対策をお願いしたい。

●スマート農業の普及は必要不可欠と考え、令和元年9月に「RTKⅡGPS基地局」を3箇所設置致しました。今後は自動操舵ガイダンス等の導入にあたって、事業等の

活用を積極的に進めます。人材の育成確保については、第7次農業振興計画の重点目標にも掲げており「JA・行政・普及センター」が三位一体となった取り組みを強化し、人材の育成確保を図ります。

「地域から人を減らさない」「地域の担い手は地域で育成」を基本に関係機関との連携強化を図り「後継者も含めたフォローアップ体制」を充実させます。また「新農業人フェア」等への積極的な参加による年間10名以上の確保を目指すとともに地域の受入環境の整備も図り、農業法人への雇用充実も同時に取り進め

るため関係税理士及び関係社労士と連携を強化し、雇用の拡充を図ります。

●JAきたそらちとしての「農作物残渣処理」について指標を明確に示して頂きたい。

●「農産物残渣処理」の指標を作成し、早期に組合員に周知致します。

●一般賦課金の使途についても教えて頂きたい。

●賦課金の徴収については、一般賦課金の基準として戸数割3,000円／戸・面積割 本地水田280円／10a 畑地160円／10a 青果販売額割0・25% 畜産販売額割0・1%となつて

おります。使途については、主として「営農組合の活動助成」「各種団体の活動助成」「作物の試験研究」等の営農改善指導や「人間ドック受診助成」「組合員の集い助成」等の生活改善及び地域の農業振興への助成で使われております。しかしながら一般賦課金徴収額で各地区の営農指導費が補えていないのが現状であり、今後、徴収基準の見直しの必要性もあることをご理解願います。

●第7次農業振興計画において「青年部・女性部による農業体験の積極的受入の促進」とあるが、1戸の面積拡大に伴い受入が困難な場合がある。地域全体としての取り組み体制を整えて頂きたい。

●農業体験の積極的受入

は、「農業応援団・パートナーづくりの組織基盤強化」の重要な位置付けと考えております。受入組合員の負担が重くならないよう体制整備を図りますのでご協力の程宜しくお願い致します。

●令和2年度のそばの品代が3,000円下がり、数量払いの単価も3,000円下がり、ソバ主体の農家は非常に厳しい状況にあることから、JAとして何らかの対策を考えているのか教えて頂きたい。

●品代については生産量等の影響を受け変動があり、数量払については過去の品代等により計算され3年毎に単価の見直しを図られることから、個々で変動時に備えることも重要と考えますが、

JAとしては販売単価の維持・向上を図ります。また、きたそらち型作付体系の確立には、生産性向上だけでなくリスク回避の意味もあることから、積極的な作付体系の推進も図ります。

●TPP11や日米貿易協定が締結された。以前TPPの協議が始まった時にはJAグループ全体で反対運動を行った経過にあるが、今回はJA組織としての運動が無かったかと思う。日本の食料基地として北海道が輸入農産物に押されることのないよう強い姿勢で臨んで頂きたい。

●本年1月に発行される日米貿易協定については、米や乳製品が実質的に除外品目となりましたが、今後の第2ラウンド交渉

の行方や牛肉等のセーフガード基準の問題等課題は多く残されています。JAグループとしては、従来より政府に対して、国際貿易交渉については農業を犠牲としない確固たる姿勢を堅持するようよう求めています。

農畜産物の国際競争は今後益々激化することが予想されますので、生産者の不安を払拭し、将来展望を持つて農畜産物の生産に取り組み、持続可能な北海道農業が確立されるよう、今後もJAグループ北海道として強く要請行動を行います。



●第7次計画における「水稻作付面積10,000ヘクタール」の根拠と「責任産地としての安定生産及び多様な販売戦略による収入増」でどれくらいの収入増を目標にするのか詳細を教えてください。

●今回の素案では所得目標の提示は行っておりませんが、現状を踏まえ、5年後の所得目標を示せるよう協議・検討致します。

●米の価格について、各種控除の単価を理解しやすいように示して頂きたい。また、粉出荷の屑米等の価格も記載して頂きたい。

●販売代金、販売経費の

販売部

明細についてより解りやすいよう、精算書等の作成を図ります。

●麦の集荷において「ゆめちから」も「きたほなみ」と同じ受入体制が取れないのか。また、「黒大豆」についても「白大豆」と同じ受入体制が取れないのか教えて頂きたい。

●麦については生麦を2品種同時に受け入れることは施設の構造上、難しい状況です。しかしながら乾麦であれば受入は可能です。（本年度1件受入実施済）黒大豆については施設の構造上、現状では難しいと思われます。

●営農計画書の「そばの単価」は下がる事が無いのか教えて頂きたい。また、価格低迷の中、今後のそばの販売戦略につい

ても教えて頂きたい。

●令和元年産は全国的に豊作基調であったため、販売価格は大きく下落しております。また令和2年産の価格についても現状では不透明な状況ではありますが、当JAが従来から取り組んでいる播種前契約、複数年契約等を基本に価格の安定化を図ります。

●輸出米の今後の取り組み方針について教えて頂きたい。

●国内需要が減少の一途をたどる中、海外への販売については拡大傾向にあります。過去には価格面での問題がありました。が、現状は国の助成等もあり主食用米と同等の収入となります。今後は販売先の意向を踏まえ輸出用米生産面積の拡大を図

る予定であります。

●小麦の生産拡大に向けた取り組み方針を教えてください。

●施設の利用率については3年毎の見直しを図ることとなっております。本年より値下げを致しました。またコンタミ対策としてアミロ選別機が導入されており、そばから小麦への転換にも配慮致しております。今後もより生産意欲の拡大に向けた取り組みを協議・検討致します。



●令和2年度以降のゆめぴりかの販売戦略を教えてください。（品評会等を踏まえて）

●「ゆめぴりか」については日本一の最高級ブランド米を目指していることから、基準外品については主食用では無く、業務用として販売・流通することを基本に、ブランド米としての地位向上を推進してきた経過にあります。

一方で、一般集荷業者においてはタンパク区分によらず、同等の価格で集荷をされていることから、系統集荷価格との乖離が出てきており、JAの集荷及び種子配分にも大きな影響が出てきております。

今後も基準品が多勢を占める生産を基本とした生産努力に報いるタンパ

ク区分別の価格差を設定することは一定程度必要と考えますが、より安心して生産・出荷して頂けるよう、新たな販売手法も検討し取り組みの推進を図ります。

また、「ゆめぴりか」コンテストについては年々各JAのレベルがあがっており、残念ながら当JAはグランプリ獲得とはなっておりませんが、生産組合・各支所施設等と連携しながら、JA内での試食等も行い、グラプリを目指した取り組みを推進する予定であります。

●もち米の主な作付け品種について「はくちょうもち」から「きたゆきもち」への移行を節減米加算も含め早く取り進めて頂きたい。

青果部

●もち米については複数
年契約を結んでいるため、
品種・年次別の契約数量
を踏まえた切り替えが必
要となります。また販売
先の意向がありますので、
産地の現状を伝え、早期
に移行出来るよう協議致
します。

●ハウス自動巻き上げ機
械助成は省力化に繋がり
とても感謝している。第
7次計画においても継続
支援をお願いしたい。

●青果・花き生産振興対
策（ハウス自動巻き上げ機）
については、労働力軽減
対策として次年度以降も
継続して取り進め致しま
すので、ご活用ください。

経済部

●道路交通法の改正に伴
い、作業機を取り付けて
の走行が可能となった。
詳細を教えて頂きたい。

●農作業機を直接装着し
た農耕トラクタの公道走
行が可能になりましたが、
灯火器、車両幅、安定性、
免許などの条件確認が必
要です。わかりやすい方
法で周知できるよう準備
しております。

雨竜支所

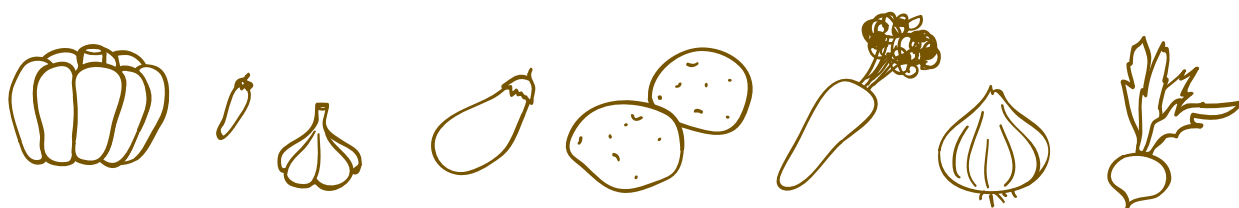
●雨竜としてイエスクリ
ーンを推進しているが、
肥料・農薬等の選定根拠
を教えて頂きたい。

●前年のYES！Cle
an栽培基準を基に、J
A資材取扱実態や試験結

果等を参考にして水稻生
産部会役員会で協議し決
定しております。

●雨竜に新設される「温
湯消毒機械施設」である
が、利用料等の設定がど
うなっているか教えて頂
きたい。

●懇談会時点では、行政
支援内容が不明確なため
明示できませんでしたが、
12月21日付の雨竜町内の
希望取りまとめ時には利
用料60円/kg（税別）と
してFAX致しました。
その他ご不明な点がござ
いましたら、雨竜支所営
農課にお問い合わせくだ
さい。



JAきたそらち太陽光発電所 発電実績

○令和元年12月実績

発電電力 **12,753kwh**

計画対比 △258kwh
前年対比 1,812kwh

JA職員 農作業実習報告 第4回

先月号に引き続き、若年職員（採用2～5年目）を対象としたJA非常勤役員宅における農作業実習につきまして、各実習生の感想や今後の抱負をご報告させていただきます。

①実習先	②実習期間	③作業内容	④感想
金融共済部 渉外課 上埜 祐輝 (平成30年4月入組)			
① 深川支所多度志地区 遠藤 良明 地区代表理事宅(農事組合法人米道産)		② 令和元年8月1日～8月6日	
③ 花き採花作業、花き選花作業、農薬・除草剤散布作業			
④ 選花作業では、切り落とす茎の判別や、茎の長さや枝の数によっては規格を一つ下げて出荷しなければいけないなど、感覚がつかめず苦労しました。また農薬・除草剤散布作業では、まず噴霧器の重さに驚きました。農薬の散布は、ダニの防除をするためにハウス3棟分で散布作業を行い大変疲れました。除草剤散布の際には、ハウス横で作業することもあったため、花に飛散しないよう丁寧に行いました。			
1週間と短期間ではありましたが、農作業の苦労を初めて経験することが出来ました。非農家出身で金融部門に所属しているため、農作業現場について知っていることも少なく、組合員と会話する際に話題に詰まってしまうことが多々ありました。しかし今後は、実習で経験したことを踏まえて、農作業についての話題でも組合員との会話を広げていけたらと思います。			
経済部 燃料課 音江給油所 松本 未来 (平成30年4月入組)			
① 深川支所多度志地区 遠藤 良明 地区代表理事宅(農事組合法人米道産)		② 令和元年8月1日～8月6日	
③ 花き採花作業、花き選花作業、花き箱詰め作業			
④ 採花作業では、ハウス内の温度が30℃をこえる中、様々な姿勢での作業であったため、とても体力を奪われました。また選花作業では、花の長さを判断して選別することが難しく最初は時間を要しましたが、時間が経つにつれて判断するコツをつかみ効率も上がりました。			
店頭に並んでいる花にこれだけの手間暇がかかっているということを今回の実習で知ることが出来ました。			
農作業自体が初めての経験で、実習に行く前はどんな作業を行うのか全くわからず不安でしたが、農作業は普段の業務で行わないようなことばかりでとても新鮮でした。一緒に作業をした組合員や従業員の方々から花を生産する上でのやりがいや苦労などたくさんのお話を聞き、より一層花き生産の大変さを知ることが出来ました。実習を通して色々と学ぶことが出来たため、とてもいい経験になりました。			

薬剤性鼻炎とは

医療法人社団 本間クリニック 院長 本間

裕



鼻の中の粘膜には豊富な毛細血管があり、この中を通過する血液の量によって、鼻の粘膜の厚みが変化します。粘膜が厚くなると空気の通り道が狭くなり、逆に薄くなると空気が容易に通過できるようになります。この鼻粘膜の血流は、自律神経によって左右交代性に調節されています。つまり、鼻粘膜は左右交代に拡張と収縮を繰り返しています。これを「ネーザルサイクル」と呼び、通常は意識しないのですが、本来は左右の鼻の通り具合は違うものなのです。

鼻炎が起きると静脈内に血液が過剰にたまったり、また鼻汁分泌が過剰になったりするので鼻づまりが起きてきます。風邪で急性鼻炎が起き、その結果として鼻がつまるのですね。薬局で風邪薬と共に点鼻薬を買い求めた方も多くおられるかと思いますが。

さて、市販の点鼻液（スプレー）の多くには血管収縮剤が含まれており、鼻粘膜の血管が収縮することにより鼻づまりが改善されます。速効性があり、3分程度で効果が現れ3時間から6時間ほど持続します。しかし、連用すると、血管周囲の粘膜の血の巡りが悪くなった状態が長く続くことになり、その結果周りの組織が増殖し、鼻粘膜自体が厚みを帯びてきます。つまり血管収縮剤の点鼻薬を長期に渡り連用すると、その作用が切れた時に逆に鼻づまりがひどくなるということです。これを「薬剤性鼻炎」と呼びます。また、点鼻薬以外にも降圧剤、利尿剤、抗精神病薬、抗パーキンソン薬など一部の内服薬では副作用として鼻閉が起きることがありますが、これらの原因ははっきりと究明されていません。

血管収縮剤を含む点鼻薬は、風邪をひいて一時的に使用するのであれば通常問題はありますが、長期の連用は上記のように薬剤性鼻炎を誘発してしまい

ます。2週間以上の連続使用はお勧めしません。また1日の点鼻回数は2回以内までに抑え、逆に鼻づまりが強くなって来たら休薬が必要です。2週間ほどの休薬で血管自体への直接的な影響は消えます。

ところが、点鼻薬で鼻の通りがよくなって快適である人は、その点鼻薬を中止することができないことが多いためか、結果的に薬剤性鼻炎となってしまう方をよく見かけます。治療は抗炎症作用と血管拡張作用があるステロイド点鼻薬を使いますが、血管収縮剤のような速効性はなく、効いてくるまで数日かかりますので、患者さんはしばらくの我慢を強いられることになります。

慢性の鼻づまりであっても、アレルギー性鼻炎であれば薬物療法で改善が期待できますし、鼻中隔湾曲症など、外科的治療が有効な疾患もありますので。鼻づまりが続くときは安易に市販の点鼻薬を連用せず、耳鼻咽喉科で相談することを強くお勧めいたします。



JA グループ通信

JA 北海道中央会



JA グループ北海道は、日米貿易協定の発効を目前に控えた状況下で、総合的な TPP 等関連政策大綱などの見直し、経営所得安定対策の単価改定、加工原料乳補給金単価の設定など、農業の担い手が意欲と希望を持って一層の農業経営の体質強化に向かえるよう、政府・与党等に対し働きかけを行って参りました。

結果として、農業関係補正予算、当初予算とも前年を上回る額が措置されることに加え、農業生産基盤の強化や家族経営への支援などが盛り込まれるなど、北海道の農家・組合員の営農継続に一定の道筋をつけられました。

今後も北海道の農家・組合員が国際競争や災害に負けない力強い農業・農村の構築と所得向上の実現を図り、持続可能な北海道農業の確立に向けて取り組んでまいります。 ※吉川前農林水産大臣に要請書を手渡す JA グループ北海道要請団



JA 北海道信連

JA 北海道大会の将来ビジョンの実現に向けて、JA グループ北海道農業経営フォーラムを札幌市内で 11 月に開催しました。今回のフォーラムでは、「農業経営に地域の魅力をいかす」をテーマに、宮城県で主に水稲と養豚を営む有限会社伊豆沼農産の伊藤社長より農村自体を産業化する取り組みについて、商品ジャーナリスト北村森氏より道内農畜産物の魅力を伝える秘策について講演がありました。



JA 共済連北海道

JA 共済連北海道は、11 月 8 日より「JA 共済有村架純&浜辺美波の限定 LINE スタンプ」のダウンロードを開始しています。JA 共済限定 LINE スタンプの提供は、JA 共済へ興味・関心をもっていただき、資料請求者をより一層拡大していくことを目的としております。有村架純&浜辺美波の限定 LINE スタンプのダウンロードについては、QR コードを読み込み、アンケートに回答いただきますとダウンロードすることができます。



ホクレン

ホクレンは、コーポレートメッセージ「つくる人を幸せに、食べる人を笑顔に」を広く発信し、北海道農業とホクレンの事業をわかりやすく伝えるためにアニメーション動画を制作し、12 月 19 日から YouTube 上で公開を開始しました。動画の主題歌には槇原敬之さん、主人公役の声優には「なつぞら」の番長役の板橋駿谷さんを起用し、WEB 媒体を活用して道内生産者・JA および全国の消費者・取引先へ広く発信していきます。



JA 北海道厚生連

11 月 30 日、遠軽厚生病院にて遠軽町・湧別町・佐呂間町の中学生を対象に医療技術体験セミナーを開催しました。

当日は、46 名の参加がありました。薬剤師や検査技師などの仕事を知り、進路選びの参考にしてもらおう狙いで、毎年実施しています。

今後も継続して実施していきたいと思います。



JA グループ北海道の連合会・中央会の活動内容を紹介いたします。各団体の詳しい取り組み内容は WEB サイトをご覧ください。



JA北海道中央会からのお知らせ



北海道の食と農の情報いっぱい。

JA²MP [ジェイエイ・ジャンプ] を使ってみよう

JA²MPとは?

JAグループ北海道が送る、北海道産農畜産物と出会う情報アプリです。アプリと一緒に出かけをして、実際に訪れた関連施設でチェックインをすれば、チェックインポイントをゲット! たまったポイントでプレゼントキャンペーンに応募すれば、抽選でおいしい北海道の農畜産物も当たります。

まずは
ダウンロード!



App Store
ダウンロード



Google Play
ダウンロード

JA²MPって何ができるの?

JAグループ北海道の直売所にチェックイン
旬でお得な農畜産物情報を毎日チェック

オススメ農畜産物

全道各地にあるJAの直売所から、旬の野菜や地域の特産品などの情報をタイムリーに発信します。直売所で、どんな農畜産物が売られているかを簡単に調べることができます。そこでしか手に入りにくい、珍しい農畜産物をチェックして直売所へ行く。直売所までの道のりもナビゲートします。



チェックインスポットを探す



全道各地にあるJAグループ北海道の関連施設にチェックインすると、ポイントが貯まります。



特集一覧

テーマに沿って、食と農に関する情報を毎月更新。季節の楽しい農業イベントなどを紹介します。珍しい野菜や農畜産物がどのように作られているかを学ぼう! 北海道農業の豆知識が満載。記事からチェックインして、紹介された農畜産物を買っているJA直売所へ行く。



直売所やイベント会場など、JAグループ北海道の関連施設でチェックインポイントを集めて、豪華景品が当たるプレゼント抽選会に応募しよう。

主なチェックインスポット: 直売所、ガソリンスタンド、JAバンクATM、Aコープ、JAグループ主催イベントなど。はじめてチェックインした施設なら1,000ポイントがもらえます!

北海道のおいしい農畜産物を 年間550人にプレゼント

プレゼント抽選会 応募期間 6月～7月 12月～1月(予定)

特選コース	10,000ポイント	3名様
プラチナコース	5,000ポイント	25名様
ゴールドコース	3,000ポイント	50名様
ブロンズコース	2,000ポイント	200名様

10,000ポイントで応募



5,000ポイントで応募



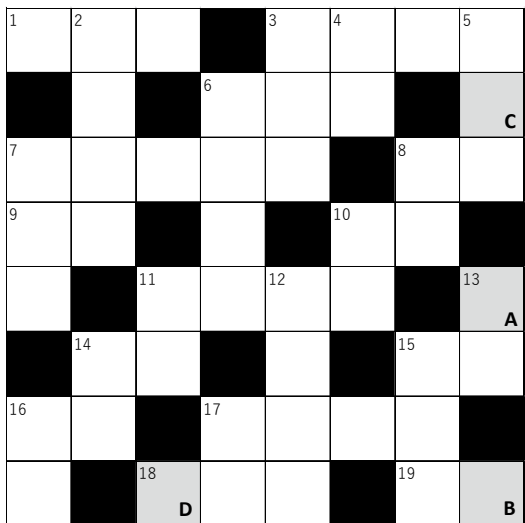
2,000ポイントで応募



※写真は抽選会の景品の一例です。

クロスワードクイズ

提供元:クロスワード.jp



A	B	C	D
---	---	---	---

12月号の正解は

「トシコシ」でした。

正解者の中から抽選で3名が選ばれました。

深川市 森下恵美子 様

深川市 太田 礼子 様

幌加内町 椋井 功 様

【タテのカギ】

- 広い分野にわたる、まとまりのない知識や学問
- 新年を祝って食べる料理
- 先人と同じ失敗を繰り返すこと、同じ〇〇を踏む
- 日本酒の醸造工程を行う職人もしくはその総大将
- 赤身の中に細かい網のように脂肪が入り組んでいる牛肉
- 付け加えること、足し算をすること
- 停止を指示する信号機の色
- 5の次の数
- 鳥や獣を追い立てたりして捕えること、狩猟
- まだ習っていないところを前もって勉強すること
- 令和3年の干支でもある哺乳類の動物
- 2014年の冬季オリンピック開催都市
- 仮に立てた考え方によって説明すること、〇〇〇を立てる
- 蒸かした大豆に麴と塩を混ぜ発酵させた調味料
- 紫蘇

【ヨコのカギ】

- 山に登ること
- 「てもと」の丁寧語、料理店などで客が使う箸
- 私的な立場で、個人が設立すること、⇔公設
- 餅を神仏に供える正月飾り
- 鰻
- 木や竹などを組んで作り、人や動物の勝手な出入りを防ぐもの
- ろ紙などのフィルターを使って濾すこと
- 火が燃えるときに出す熱の力
- 雪や氷の上を滑らせて走る乗り物
- カラオケで画面に表示される、歌に伴う言葉のこと
- 人や車などが往来する所、通路、道路
- 世の中に出て成功し、立派な地位や身分を得ること
- 美しく装うこと
- 〇〇は千年、亀は万年

応募方法

正解者の中から抽選で3名様に農協全国商品券をプレゼント。ホームページ応募フォーム・ハガキ・FAXで①クイズの答え②住所、氏名、年齢③身近な出来事④農協だよりに対するご意見ご要望を記入の上ご応募下さい。

締切2月29日消印有効で当選者とクイズの答えは4月号に掲載します。

【送り先】〒074-0022 深川市北光町1丁目10番10号

JAきたそらち総合企画室企画広報課 FAXの場合は 0164-22-8611

【ホームページ応募フォーム】URL: http://www.ja-kitasorachi.com/application_form/

※ご本人以外による応募は抽選の対象外とさせていただきます。

一月俳句

●雨電俳句会

寄せ鍋の湯気の中へと頭を集め
割烹着母は遠のく茎の石
兄逝きて星が遠のく冬霞
湯豆腐や小鉢にありてその気品
老夫や人に寄りそう冬の夜
雪催気にするほどの用もなく
冬ごもり最後の野菜収穫し

●「道」俳句会 北電支部

合唱の窓に即興虎落笛
いつ見ても正装の松年新たに
この賀状までのご縁と何枚か
始まりは少しの嘘の大氷柱
募金箱日々を重ねて師走来る
義理固き村の流水来て去りぬ
静かさは祈りとともに神の留守
温暖化の余波か少雪この村も

●土筆俳句会

眉ひいて八十路の顔の初鏡
藪入りや雪の十里を歩きしと
年惜しむ水の流れの如く生き
正月や髪すつきりと美容室
苦も楽も箱根駅伝輝けり
元旦の朱鷺色に明け五輪年
子の受験語る看護師アベマリア

有田 茉莉

大林アヤ子

北川 満江

小山 邦男

松木 五月

宮武めぐみ

吉見サヨ子

山本 玲子

阿部れい子

吉尾 広子

山岸 正俊

山下 好晴

佐光久美子

杉本 隆文

高田 紀子

高尾美津子

池田 美知

引地紀代子

山川 輝子

南川富美子

佐藤英三子

小橋 厚子

第13回理事会〈令和元年12月19日開催〉以下の事項について決議・承認されました

1. 関係団体等諸会議について
2. 第3四半期監査報告について
3. 内部監査報告について
4. 組合員の加入脱退について
5. 11月末推定決算について
6. 財務報告及び事業実績について
7. 職員の人事について
8. 令和元年度 提案表彰について
9. 准組合員対策について
10. 貸出金の貸付報告について
11. 令和元年度5連JAサポート事業の申請状況について
12. 平成30年産 うるち米の精算について

議案第1号 令和2年度内部監査部門事業計画について

議案第2号 出資金の持ち分譲渡について

議案第3号 役員の補欠選任について

議案第4号 貸出金の貸付決定について

13. 平成30年産 もち米の追加概算払いについて
14. 平成30年産 飼料用米共同計算の精算結果について
15. 平成30年産 民間流通小麦最終精算について
16. 平成30年産 全道共計大豆精算に伴うJA共計大豆最終精算について
17. 畜産物販売実績について
18. 令和元年度 農薬大口利用奨励金の支払状況について
19. 令和元年度 生産資材各種奨励金等支払状況について
20. 経済部事業実績について

議案第5号 理事に対する貸出承認について

議案第6号 平成30年産米違約金について

議案第7号 令和元年産 飼料用米概算金支払いについて

議案第8号 令和元年産 雑穀概算金支払いについて

第14回理事会〈令和元年12月26日開催〉以下の事項について決議・承認されました

1. 関係団体等諸会議について
2. 決算実地棚卸立会について
3. クミカン精算状況について
4. 令和元年度経営所得安定対策 数量払仮渡金可能額及び申請額について
5. 令和元年産 超過米出荷奨励金の支払いについて

議案第1号 出資金の持ち分譲渡について

議案第2号 貸出金の貸付決定について

6. 令和元年産 民間流通小麦二次概算金について
7. 令和2年度 営農計画書作成における追加項目について
8. 青果・花き集荷販売実績について



組合員の動き

(平成元年12月末日)

		当期首	加入	脱退	当月末
正組合員	個人	1,402	22	35	1,389
	団体	85	1	0	86
准組合員	個人	5,988	120	68	6,040
	団体	329	2	0	331
正組合員戸数		1,015	2	17	1,000

総務部 人事課からのお知らせ

JAグループ北海道 合同採用説明会

北海道内のJAが集結！

2020
3/5(木)

10:00-16:10

札幌ビューホテル大通公園

(札幌市中央区大通西8丁目) 地下鉄大通駅1番出口より徒歩約5分

- 💧 地域に根差すJAで働きたい
- 💧 JAってどんな仕事をしているの？
- 💧 JAの採用情報を知りたい！

予約ページ



【主催】JA北海道中央会 JA総合支援部

 sougoushien.hitodukuri@chuo.ja-hokkaido.gr.jp

 <http://ja-dosanko.jp/recruit>

【運営協力】髙ジエイ・ブロード 北海道支社



参加者特典

先着130名に牛乳贈答券をプレゼント！
さらに事前予約の方へは軽食をご用意しています。
詳細は予約ページURLをご確認ください。